



20～30代OL300名・ビジネスマン200名に聞く「マスク女子」実態調査

男性社員もマスク下の顔にがっかり！？ マスクを外すのに抵抗がある「マスク女子」は82.3%

3月に入り、いよいよ今年も花粉症の季節がやってきました。最近では、花粉症や風邪・インフルエンザ対策だけでなく、すっぴんを隠すなどの理由で、マスクをして外出する「マスク女子」が増えてきています。カネボウ化粧品のメイクアップブランド「KATE(ケイト)」では、マスクをして仕事に行ったことがある20～30代(20～34歳)営業職のOL300名と、20～30代ビジネスマン200名を対象に、「マスク女子」をテーマにした意識・実態調査を実施しました。主な調査結果は以下の通りです。***カネボウ化粧品「KATE(ケイト)」調べ**

もはやマスクは顔の一部！？花粉症の他「保湿」や「すっぴん隠し」にマスク着用も約3割。

- * 春マスクをして会社に行くことのあるOLのうち、「ほぼ毎日」マスク出勤をしている人が3人に1人(34.0%)。
- * マスクの理由は、「風邪・インフルエンザの予防」(67.0%)や「花粉症対策」(46.7%)の他、「喉や鼻の湿度を保つ」(30.7%)、「寒さ対策」(28.7%)、「すっぴんの顔をごまかす」(27.0%)等多岐にわたる。

マスクは化粧がくずれるのが悩み。マスク女子の82.3%がマスクを外すことに抵抗あり。

- * マスク女子の悩みは、「化粧が取れてしまう」(92.7%)、「マスクにファンデーションやチーク・口紅がつく」(88.0%)、「ファンデーション・チークなどがよれる・ムラができる」(87.3%)など、化粧まわりの悩みが中心。
- * だからマスク出勤の後、マスクを気軽に外せない。マスクは「必要に応じて着けたり外したり」する人が約半数(49.0%)。「一日中つけっぱなし」という人も5人に1人(18.0%)いた。
- * マスクを外した顔を見せることにOLの82.3%が「抵抗あり」。「化粧が取れているから」(70.9%)、見せたくない。

マスクを外した顔を、一番見せたくない「男性社員」にびっくりされた人も2割。

- * マスクは「取引先」(71.7%)や「電話に出る時」(62.7%)などは外すように努めている。
- * 一方で、「マスクを外した自分の顔にびっくりしたことがある人は約半数(53.7%)。マスクを外した顔を一番見せたくない「男性の同僚」(67.2%)にも、「びっくりされたことがある」人が18.0%。

男性社員はマスク女子に期待。化粧がくずれたマスク下には幻滅。

- * 男性ビジネスマンは「女性がマスクを外した顔を見たい」(52.5%)が、実際に見てがっかりした人が約4割。「マスクの下がノーメイク」など、がっかりエピソードも多数。

マスク女子の過半数が化粧直しに不満。短時間で長時間キープできる多機能な化粧直しが理想。

- * 仕事がある日、忙しいマスク女子の化粧直しの頻度は「1回」(40.3%)が最多。化粧直しにかかる時間は平均5.5分で、2人に1人が自分の化粧直しに「満足していない」(50.9%)と答えています。
- * マスク下の化粧直しは「くずれ度合いが大きい」(27.8%)から、「手間・時間がかかり」(27.5%)、「何度もしなければならぬ」(20.4%)のが悩み。
- * 「長時間キープでき」(95.7%)、「短時間で済み」(94.7%)、「保湿効果もある」(90.7%)「肌質を問わない」(82.7%)多機能な化粧直し化粧用品が求められています。

+ 化粧直しに悩むマスク女子にオススメ！「ケイト クイックリメイクリキッド」

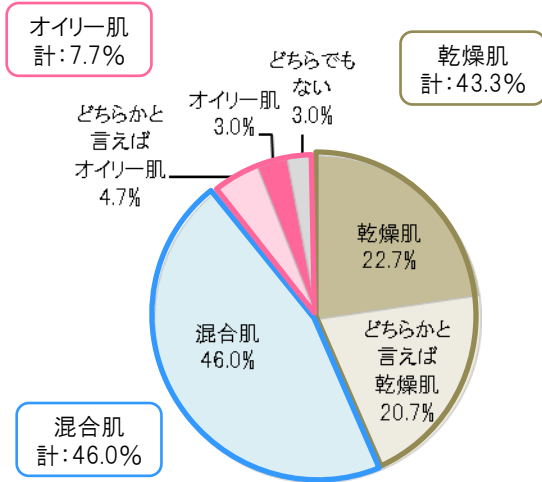
+ マスク女子必見！化粧の「クイックリメイク」法 美容研究家 神崎 恵さん

「マスク女子実態調査」調査概要

- 実施時期 2014年2月21日(金)～2月24日(月)
- 調査手法 インターネット調査
- 調査対象 平日週3回以上化粧をし、春、マスクをすることがある20～34歳の営業職の女性 300名
職場に女性社員がいる20～39歳の会社員男性 200名
- 調査地域 全国
- サンプル数 女性 計300名(20～24歳 100名 25～29歳 100名 30～34歳 100名)
男性 計200名(20～29歳 100名 30～39歳 100名)

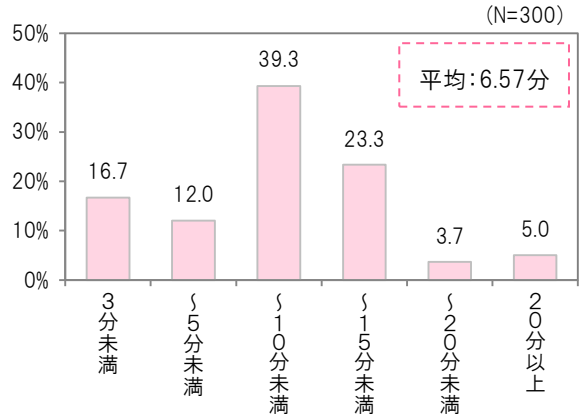
■基本プロフィール

★肌質(Q3)

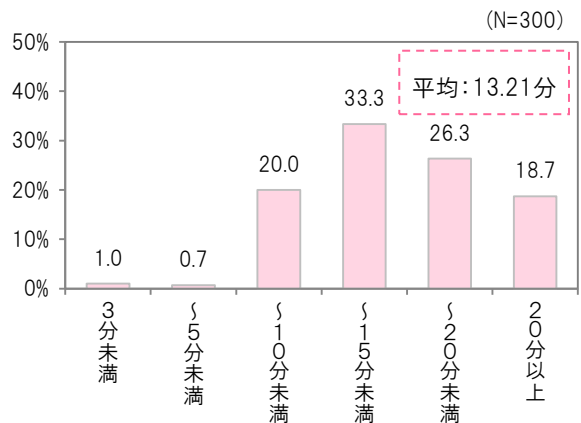


(N=300)

★平日の朝、スキンケアにかかる時間(Q4)



★平日の朝、化粧にかかる時間(Q4)



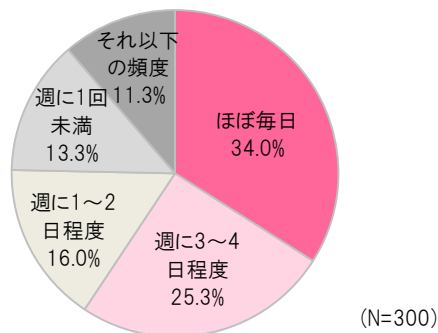
マスク女子のマスクの理由

■ マスク女子の3人に1人(34.0%)が「ほぼ毎日」マスクをして出勤。マスクをつける理由は風邪・インフルエンザ対策や花粉症対策に加え、乾燥や寒さ対策なども、気軽にマスクをしている。

まず、マスク女子のマスクの実態を把握しました。

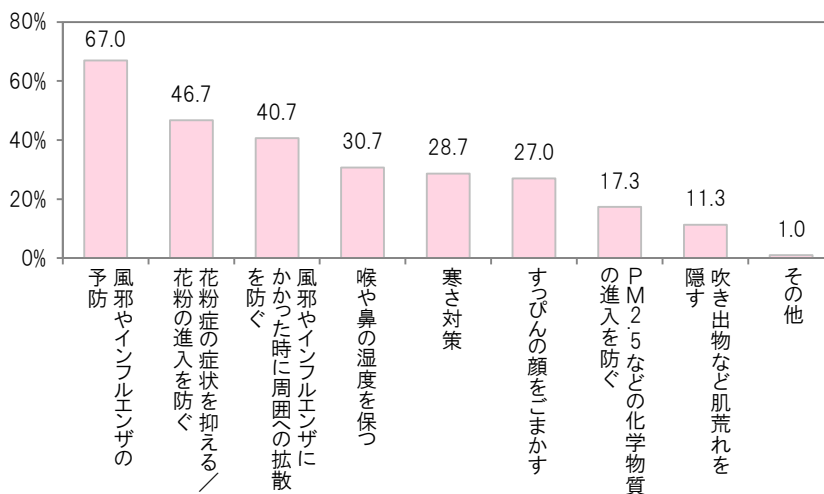
マスク女子が春先マスクをして出勤をする頻度は「ほぼ毎日」(34.0%)、「週に3~4日程度」(25.3%)、「週に1~2日程度」(16.0%)の順。かなりの高頻度で着けているようです。【グラフ1】

【グラフ1】春マスクをつける頻度 (Q29)



また、マスクを着ける理由について聞くと、「風邪やインフルエンザの予防」(67.0%)、「花粉症の症状を抑える/花粉の進入を防ぐ」(46.7%)、「風邪やインフルエンザにかかった時に周囲への拡散を防ぐ」(40.7%)、「喉や鼻の湿度を保つ」(30.7%)、「寒さ対策」(28.7%)など、様々な理由でマスクを着用しており、病気の対策だけでなく、気軽にマスクを利用している「マスク女子」が多いことが分かります。【グラフ2】

【グラフ2】マスクをつける理由(複数回答) (Q15)



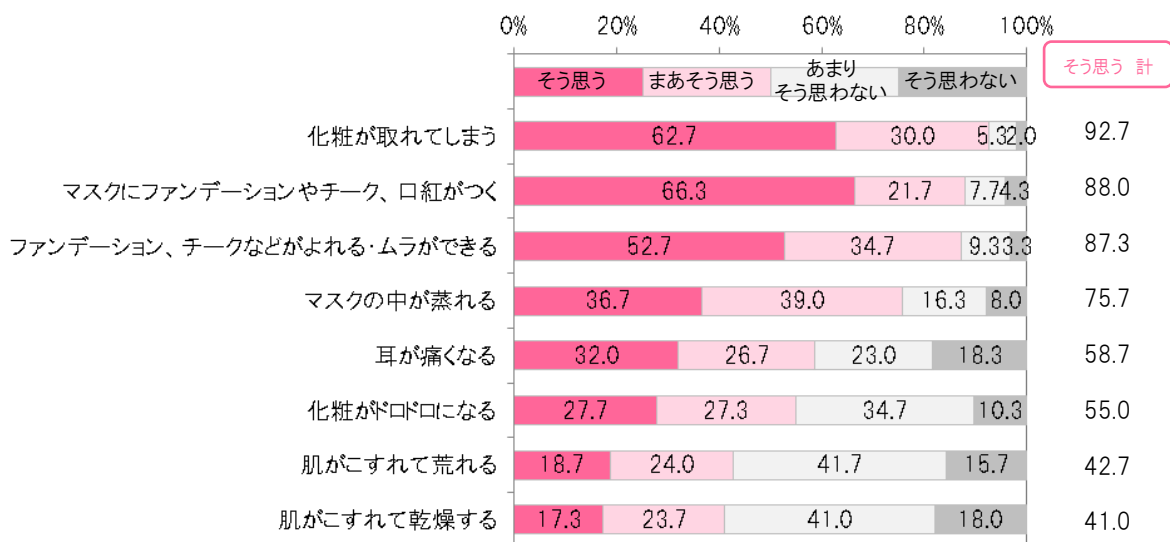
マスク女子の悩み

■マスク女子の悩みは「化粧が取れる」(92.7%)、「ファンデーション、チークがよれる」(87.3%)
 など化粧くずれ。だからマスクを取った顔を人に見せることに82.3%もが抵抗を感じる。

花粉症の時期、特にマスクを着ける機会が多い女子が増えていることが分かりましたが、では彼女達の悩みはどのようなものなのでしょうか。マスクを着けている時に困ることを聞くと、「化粧が取れてしまう」(92.7%)、「マスクにファンデーションやチーク、口紅がつく」(88.0%)、「ファンデーション、チークなどがよれる・ムラができる」(87.3%)、「マスクの中が蒸れる」(75.7%)などで、マスクによって化粧がくずれることが大きな悩みになっています。【グラフ3】

【グラフ3】マスクを着けている時に困ること(Q16)

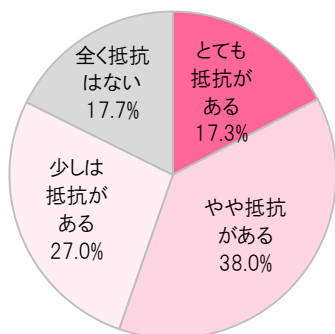
(N=300)



そのため、マスク女子はマスクを外したばかりの顔を他の人に見せることに「とても抵抗がある」(17.3%)、「やや抵抗がある」(38.0%)、「少しは抵抗がある」(27.0%)を合わせ、82.3%もの人が「抵抗がある」と感じています。【グラフ4】抵抗を感じる理由として、「化粧が取れてしまっているから」(70.9%)、「化粧がよれたりムラが出来ているから」(58.7%)など、やはり化粧くずれが気になって、マスクを取りづらいつ感じている人が多いようです。【グラフ5】

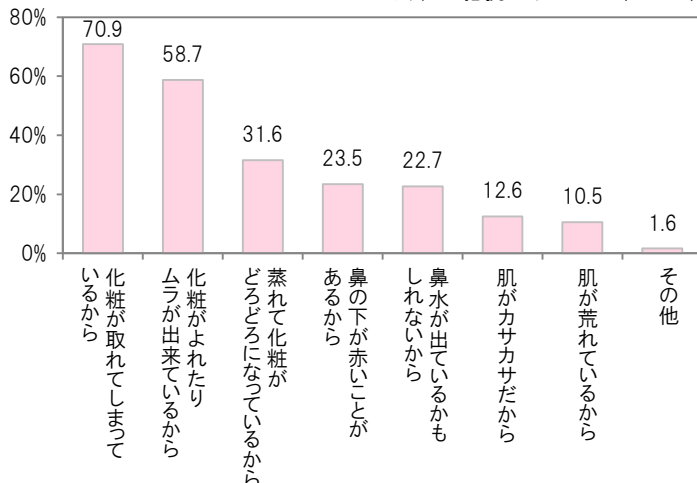
【グラフ4】マスクを外したばかりの顔を他の人に見せられるか(Q19)

(N=300)



【グラフ5】抵抗感を感じる理由(Q20)

マスク外しに抵抗があるベース(N=247)

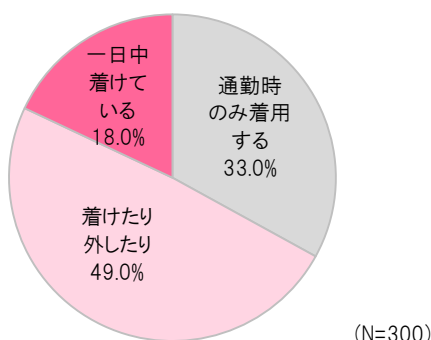


マスク女子の会社でのマスク着用実態

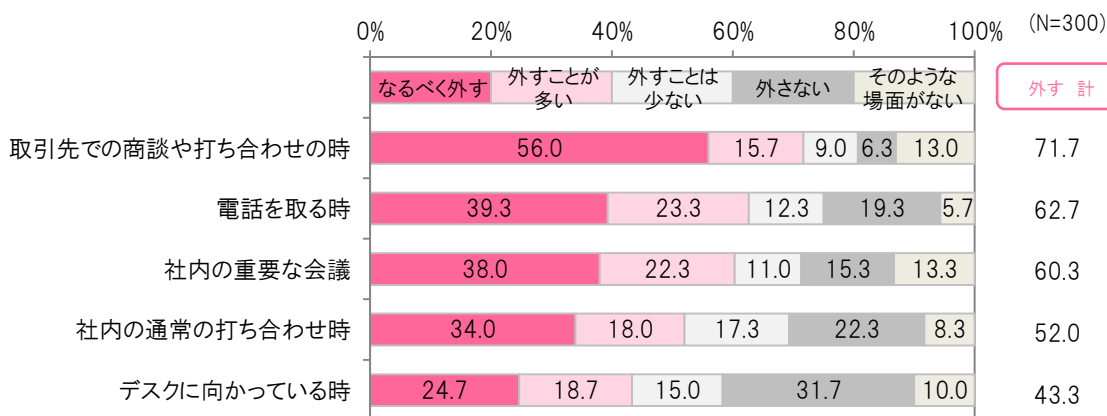
■ **だから会社についてもなるべくマスクは外さない。マスクを外した顔を見せたくないのは「男性の同僚」(67.2%)で、「彼氏」を大きく上回る。**

マスクを外した顔を見せることに抵抗を感じるマスク女子。会社についてもマスクを外さず、「必要に応じて着けたり外したりする」(49.0%)人が約半数と多く、また「一日中つけていることが多い」(18.0%)という人も5人に1人存在します。あまり気軽に外せるものではないようです。【グラフ6】マスクを外すのは、「取引先での商談や打ち合わせの時」(71.7%)、「電話を取る時」(62.7%)、「社内の重要な会議」(60.3%)などの順となりました。「社内の通常の打ち合わせ時」や「デスクに向かっている時」は、着けたままという人が約半数いることが分かります。【グラフ7】

【グラフ6】会社についたらマスクを外すか (Q17)

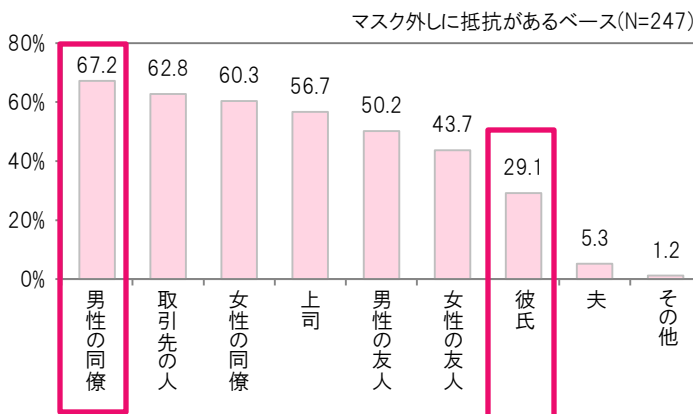


【グラフ7】会社でマスクを外すとき (Q18)



ちなみに、マスクを外した顔を見られたくないのは、「男性の同僚」(67.2%)、「取引先の人」(62.8%)などで、「彼氏」(29.1%)を大きく上回っています。【グラフ8】

【グラフ8】マスクを外した顔を見られたくない相手(複数回答) (Q21)

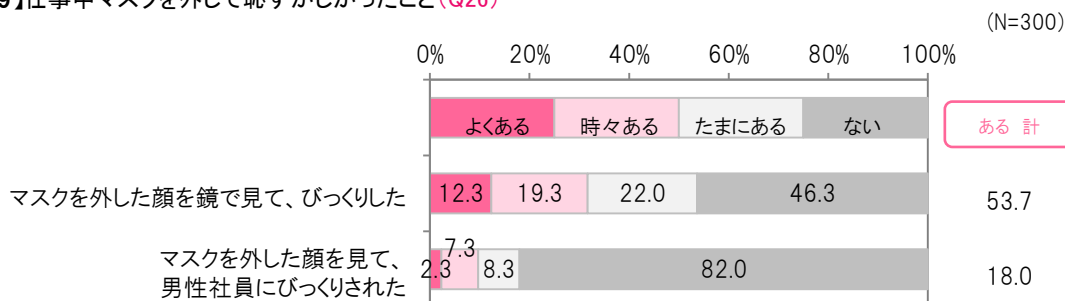


マスク女子のマスクの下の素顔

■ マスクを外した顔には自分でもびっくり。一番見られたくない男性社員に驚かれたことも。マスクを外した際の悲しいエピソードも盛りだくさん。

実際に、マスクを外して顔を見て、びっくりしたというシーンも。「マスクを外した顔を鏡で見て、びっくりしたことがある」(53.7%)、最も見られたくない男性社員に「マスクを外した顔を見て、びっくりされたことがある」(18.0%)など。【グラフ9】
 工作中、マスクを着けている時に化粧直しが出来ずに困ったり、恥をかいたりした悲しいエピソードも数多くあげられました。【表1】

【グラフ9】 工作中マスクを外して恥ずかしかったこと (Q26)



【表1】 工作中マスクを外して困ったり、恥ずかしかったエピソード(自由回答) (Q27)

- 化粧もくずれかけた状態で営業から戻り、事務所に誰もいないと思い油断していたら、すぐに来客がありマスクを外し、帰った後鏡を見たら、ヨレてひどい顔になっており、恥ずかしい思いをしました。(福島県 33歳)
- 鼻の下にティッシュが付いていたことがある。(愛知県 27歳)
- 鼻の下が赤くなり、チークも口紅もとれた状態だったが、周りが気を使ってくれていたのか、誰にも指摘されなかったために、長い時間その状態を晒していた。(栃木県 25歳)
- はずしたマスクに化粧がついていて、同僚に指摘された。／マスクを外した顔を鏡で見て、顔の赤さに驚いた事がある。(愛知県 28歳)
- 電話を受けるとき、マスクを顎の下までずらして会話をするが、そのときに正面の席にいる同僚が私の顔をちらっと見てきた。(長野県 24歳)

男性社員から見たマスク女子

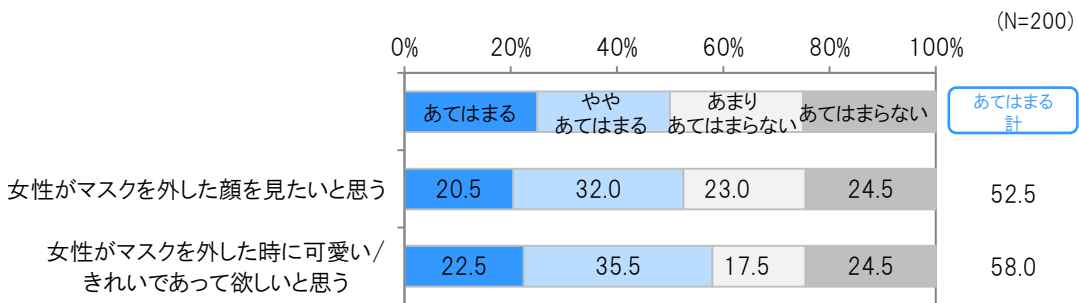
■ 男性社員は女性のマスクの下に興味あり。

マスクを外した時も可愛い、きれいであって欲しいと思っている。

一方、工作中マスク女子がマスクを外した顔にびっくりしたことがある人は40.5%。

では、男性社員は「マスク女子」やマスク女子のマスクの下の顔をどのようにとらえているのでしょうか。マスク女子に対する意識を聞いてみると、「女性がマスクを外した顔を見たいと思う」(52.5%)、「女性がマスクを外した時に可愛い/きれいであって欲しいと思う」(58.0%)と、マスク女子に興味がある様子がうかがえます。【グラフ10】

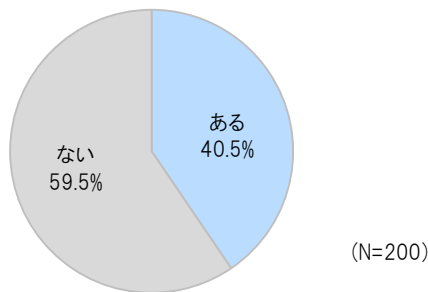
【グラフ10】マスク女子への思い(Q3)



しかし、現実には残酷。工作中にマスクを着用している「マスク女子」がマスクを外した時に「びっくりした」「幻滅した」と感じたことがある人は40.5%で、具体的にエピソードを聞くと、「化粧を全くしていなかった」「化粧が取れていた」など、

マスク女子が気にしている通り、マスク下の化粧の悲惨な実態がチェックされているようです。【グラフ11】【表2】

【グラフ11】マスク女子がマスクを取った時に「びっくりした」「幻滅した」経験(Q4)



【表2】マスク女子に、「びっくりした」「幻滅した」エピソード(自由回答)(男性Q5)

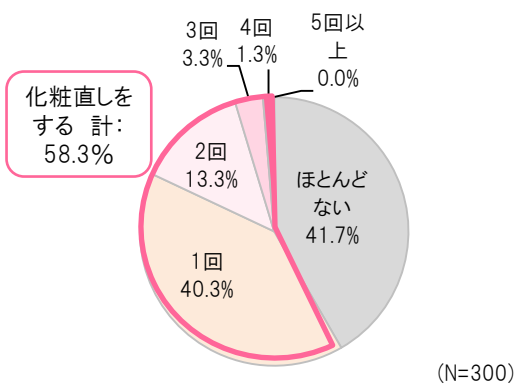
- 口もとの化粧を全くしていなかった。(岡山県 29歳)
- マスクの下のメイクが取れていた。(長野県 31歳)
- 目もとが可愛かったのに、外した瞬間に顔の印象が変わった。一気に老けて見えた。(群馬県 38歳)
- 化粧が乱れていた。(香川県 29歳)
- 肌が汚かったとき。(静岡県 25歳)

マスク女子の化粧直し実態

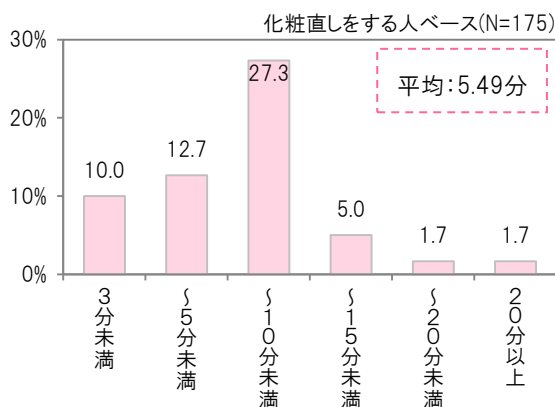
■ マスク女子の6割が平均5.5分の短い時間で仕事中に化粧直しを行う。自分の化粧直しには過半数(50.9%)が不満。短時間で、長時間キープできる多機能な化粧直し用化粧品が理想。

仕事中もマスクが欠かせないマスク女子。男性社員にがっかりされたりしないためにも、化粧直しが重要です。仕事がある日の化粧直しの頻度を見ると、忙しいためか回数は「1回」(40.3%)が最多で、【グラフ12】1回あたりの化粧直しにかかる時間は平均5.49分。【グラフ13】しかし、そんな自分の化粧直しには「満足していない」(50.9%)という人が過半数です。【グラフ14】マスクをしている日の化粧直しで困ることとしては、「肌が蒸れてくずれ度合いが大きい」(27.8%)、「手間・時間がかかる」(27.5%)、「何度もしなければならぬので面倒」(20.4%)など。【グラフ15】現状の化粧直しに不満がある忙しいマスク女子は、「美しい仕上がりを長時間キープ」し、「短時間で化粧直しができる」、「浮かない」「保湿ができる」「テカらない」多機能な化粧直し用化粧品を求めているようです。【グラフ16】

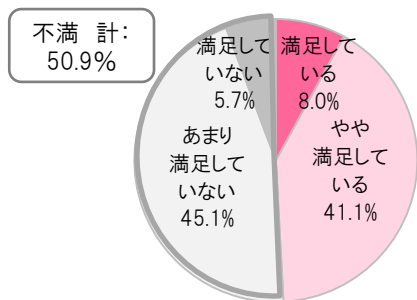
【グラフ12】仕事がある日の化粧直しの頻度(Q7)



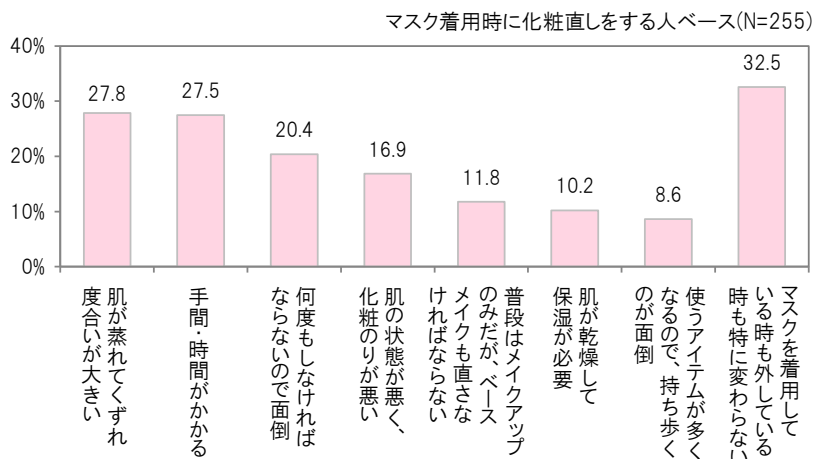
【グラフ13】仕事がある日の化粧直し1回あたりにかかる時間(Q8)



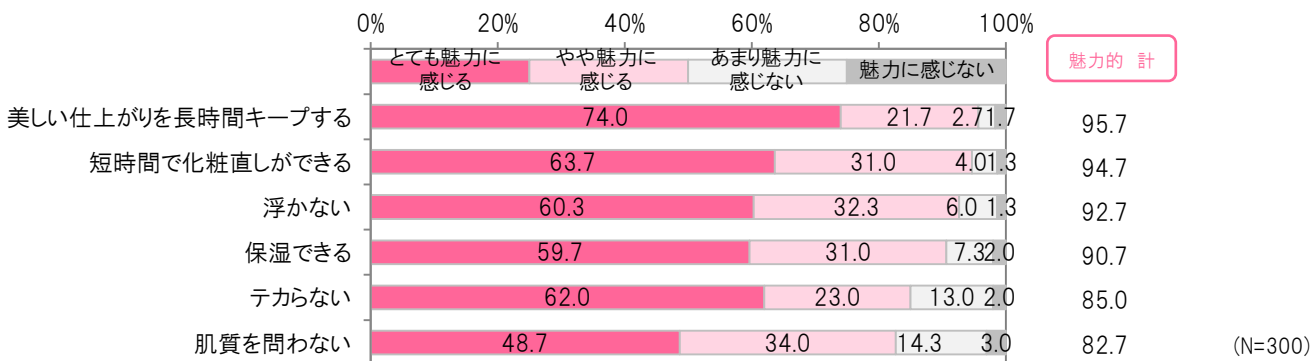
【グラフ14】化粧直しへの満足度(Q11)



【グラフ15】マスクをしている日の化粧直しで困ること(複数回答)(Q24)



【グラフ16】化粧直し用化粧品に求めること(Q28)



化粧直しに悩むマスク女子にオススメ！ 「ケイト クイックリメイクリキッド」

■マスク女子の味方！時短・簡単・高機能な化粧直し用のリキッドが登場

マスクをするとひどくなる化粧くずれが気になってしまうものの、忙しくてなかなか化粧直しもままならないマスク女子の意識と実態が明らかになりました。短時間で、簡単にさっと直せて、しかもベースメイクの美しい仕上がりを長時間キープしたい…というマスク女子の願いを叶えるアイテムがカネボウ化粧品のメイクアップブランド「KATE(ケイト)」から登場。20～30代の肌は、混合肌(46.0% * 肌質Q3)で乾燥するのに皮脂でベタつく、という悩みを抱える方が多いですが、「ケイト クイックリメイクリキッド」は、“うるおうのにさらっとカバー処方”で、ひと塗りで化粧直しが完了します。



EX-1
透明感のある自然な肌色
(ナチュラルスキンカラー)

ケイト クイックリメイクリキッド
1色 25g 1,400円(税抜) SPF25・PA++

うるおっているのに、さらさらパウダーに変化!!
メイクの上から重ねるだけで、乾燥・くずれ・テカりを同時にカバー。
ベースメイクの美しい仕上がりがよみがえる、化粧直しリキッド。

1つで3つの化粧直し効果

①うるおいカバー

保湿成分がたっぷり入っているリキッドだから、乾燥した肌にうるおいを与え、保湿感のある肌に仕上げます。

②くずれカバー

リキッドなので肌とぴったり密着。均一な肌に仕上げます。

③テカりカバー

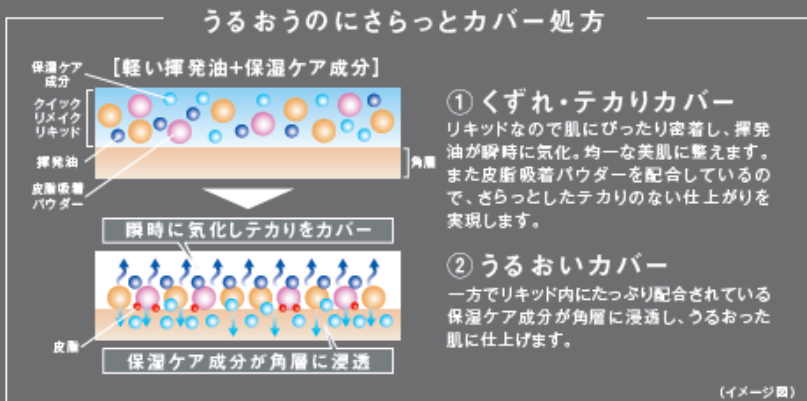
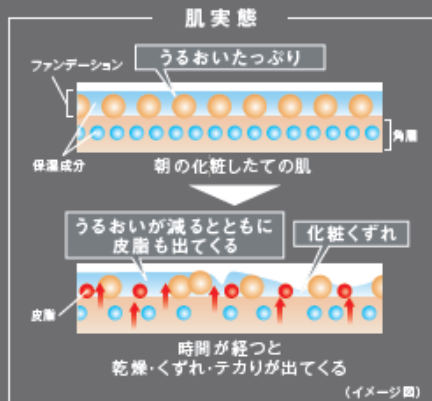
皮脂吸着パウダー[※]配合で、さらっとしたテカりのない仕上がりを実現します。

使用方法

メイクの上から、化粧直したい部分に適量(真珠1～2粒)やさしく伸ばしなじませます。さらにカバーしたい部分は少し足して使うと、よりきれいに仕上がります。アイシャドウ・チーク等の色みが多くついている部分は、一回ティッシュオフした後、使用します。

※ポリメチルシルセスキオキサン

■うるおいとカバー力を両立した処方



マスク女子必見！化粧の「クイックリメイク」法

■“マスクブス”は女子の敵！美容研究家 神崎恵さんに聞くクイックリメイク法

あらゆる女性を「美人」に導く強い味方、美容研究家の神崎恵さんに、忙しい「マスク女子」の美容法についてアドバイスをいただきました。美容家として多忙を極める神崎さんの「クイックリメイク」術とは？



神崎 恵(かんざき・めぐみ)さん

ビューティー ブラッシュアップ コンサルタント / 美容研究家

ビューティブラッシュアップコンサルタント。

ビューティライフスタイリストとして活躍。

書籍累計40万部突破。

2児の母でもある。

最新刊『いるだけでどうしようもなく心を奪う女になる』が大和書房より発売中！

神崎 恵オフィシャルブログ『Brush Up My Days』<http://ameblo.jp/kanzakimegumi/>

<著書・連載>

「読むだけで思わず二度見される美人になれる」(KADOKAWA)

「会うたびに「あれっ、また可愛くなった?」と言わせる」(KADOKAWA)

「すれ違いざまに恋に落とす」(KADOKAWA)

「いるだけでどうしようもなく心を奪う女になる」(大和書房) など多数

■マスク女子のフェイスクア法

-3月は、季節の変わり目で肌がゆらぎやすく、荒れやすい時期と言えます。3月はちょうど冬から春にかけて天候が変わり、体調を崩しやすくなっている上に、冬のうちに乾燥肌が進むと、外部の影響を受けやすくなります。特に、花粉症シーズンは花粉やマスクが刺激になって、肌の不調を引き起こすことも。神崎さんに、この時期の肌のお手入れについてお聞きしました。

神崎さん：

揺らぎ肌のときにはいつものコスメはおやすみして、敏感肌用のコスメに切り替えてのお手入れや保湿クリームだけのシンプルケアがおすすめです。角質ケアやアイテムをたくさん重ねる攻めのスキンケアもおやすみ。肌のバリア機能も弱まっているので紫外線から肌を守るケアもとても重要。肌に優しいものでしっかり紫外線対策をし、お肌を守りましょう。

春は、クレンジングも、見直しをするのがおすすめです。肌の負担になりにくく、でも汚れをしっかり落とせる、自分のメイクにぴったり合ったクレンジング料でやさしく落とすことが大切です。

また、枕やタオル、髪など顔に触れるものは清潔でやわらかく保つこと。

鼻をかむ前後には、クリームを塗るとカサカサ赤くなるのを防げますよ。

■くずれにくいベースメイクのコツ

-みなさん、ベースメイクにお悩みを持つ方が多いですね。特に今の時期、マスクをつけたり外したりする機会も多く、マスクでメイクがとれてしまったり、ヨレてしまったりしがちですね。できるだけ、ヨレにくくするコツは？

神崎さん：

一日中きれいな肌をキープしたいなら、ファンデーションの前に、よれやくずれ防止の下地を仕込むといいですよ。小鼻など皮脂分泌が盛んな部分は朝オイルクレンジングでくるくると洗っておくとテカリにくく、くずれにくくなるのでぜひお試しを。よれやすい部分は肉厚スポンジを使うひと手間ははさむのが正解。スキンケア、下地、ファンデーションの段階でトントンとスタンプのように押さえ、余分な油分をとりつつぴったりフィットさせていくことで、くずれにくく、ぴたっと密着したなめらかな肌になります。粉をたくさんおさえずぎるとくずれやすく、くずれたときも目立つので、極薄くのせることがポイントです。

マスク女子必見！化粧の「クイックリメイク」法

■忙しい女子におすすめのクイックリメイク術

-それでも、どうしてもヨれてしまった場合の「クイックリメイク」術は？

神崎さん：

本当はコットンや綿棒に乳液を含ませ拭き取ってから乳液をもう一度なじませ保湿し下地、ファンデーションを塗り直すのがベストです。シワやくすみがつっくら透明になり、“うるうるちゅるん”の肌になれます。

でも、なかなかそこまで時間も手間もかけられない、でもキレイになりたい！という忙しい女子には、「クイックリメイクリキッド」がオススメ。ただ塗るだけでうる肌が完成するところがいいですね。時間がないときには拭き取らず、そのまま重ねてもメイクしたてのような肌に仕上がるし、丁寧に保湿したようなツヤとやわらかそうな肌に仕上がるのが魅力。持ち歩きに便利なサイズもうれしい。ツヤは守りながらもテカリは抑えてくれるので、磨き上げたような肌になれるのも理想的です。特に肌印象を左右する、頬に重ねてお直しすることで、生まれつき肌がきれいな人のような、“ほめられ肌”になってしまいます。毛穴くずれもしっかりカバーしてくれるから、恋愛シーンの接近戦でも自信が持てます。

■「マスク女子」におすすめのアイテム

-今の時期、マスクを着けている女子の3人に1人がほぼ毎日マスクをしている「マスク女子」ですが、マスクをしていても可愛く過ごすためのコツやおすすめのアイテムについて教えてください。

神崎さん：

マスクは目の印象をより深く神秘的にするアイテム。男性も思わず引き寄せられてしまうはずです。期待値が高いだけにハードルが高まるので、その期待の上をいけるよう、マスクの下の肌と唇も手を抜かずに整えておくのが鉄則です。

日中も肌をケアしながら美人が保てるBBクリームを使って、化粧直しにクイックリメイクリキッドを使うのがおすすめ。あまりメイクができない目もとにはマスカラを根元を逃して塗り、フォルムを整えるくらいで仕上げ、あえてのピュアメイクに見える。ときにはメガネで目の深みをだしながらこっそり花粉防御。こなれ見えるオレンジや赤、濃いめピンクでリップにポイントをもっていけばかなりの“こなれ美人”に見えますよ。かさかさしがちな唇は色つきリップで「ケア」と「かわいい」の両方どりを。落ちにくく、でもうるっとしたいときには、リップライナーでぬりつぶしてからバームでのばすことをおすすめします。



■カネボウ化粧品
ケイト クイックリメイクリキッド
全1色 1,400円(税抜)



■カネボウ化粧品
ケイト ミネラルカバーBB
ジェルクリーム
全3色 各1,500円(税抜)



■カネボウ化粧品
ケイト クイックエクステ
ロングマスカラ
全1色 1,500円(税抜)



■カネボウ化粧品
ケイト ボリュームアップ
ルージュ
全6色 各1,400円(税抜)

マスク女子必見！化粧の「クイックリメイク」法

■コラム■

景気とメイクの関係性！？

-調査結果によると、特に若い女性で、定時後化粧直しをしてでかける機会が増えたと答える人が3割いることがわかりました。(下グラフ参照)。

神崎さん:

かわいい女のコがたくさんくるお店は景気がいいしかわいい女のコには華やかでハッピーな空気があると思います。女のコのかわいさは景気も盛り上げhappyも呼び込む力をもっていそうですね。

日本の女のコのかわいさレベルがかなり高まっている今、景気がよくなる兆しがあると言っていいのではないのでしょうか。かわいい女のコが増えると男のコたちもがんばってくるはず。

かわいいは日本を救うのでは、と思えてしまいます。

★定時後化粧をしてでかける頻度(Q13)

